

実践から学ぶ自閉症スペクトラム児の療育の基本

— ASDの療育実践において必要な特性理解と発達支援 —

期 日：2018年3月4日（日）

受講対象：自閉症スペクトラム児への療育支援に携わっている方や興味のある方

定 員：60名（定員になり次第締切りますのでホームページ等でご確認ください）

受講料：3,000円（税込み） ※昼食は各自おとりください

会 場：エムワイ貸会議室 TDビル3階

東京都新宿区高田馬場1-29-9 ※詳細地図は受講証に添付します

〔 JR山手線・西武新宿線「高田馬場駅」戸山口より…徒歩約2分
東京メトロ東西線「高田馬場駅」5番出口より…徒歩約5分 〕

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

子どもを育てる環境の変化、特に近年の子どもと直接かかわりを持つ身近な人の減少が子どもの育ちのバランスに及ぼす影響は少なくありません。このような現状のなかで、発達に何らかの心配のある子どもたちの増加に伴い、様々なレベルの療育支援が身近な地域で用意されてきています。しかし、一人ひとりの子どもが持つ可能性を具現化させていくために必要とされる専門的な対応と、それにかかる労力は、その子どもの発達の現状把握と将来の予測、家族の強い希望と家族と日々子どもに関わる人々が子どもの療育に積極的に関わることでのみ保障されるものです。自閉症スペクトラムの特徴については、多くの情報が利用可能なデータベースから示されていますが、社会性の障害という中核的な特徴から予想される年齢相応で有効な情報への接近の難しさや社会的な強化（評価）に支えられた行動の持続性の難しさがあります。

このような特徴へのアプローチに必要な工夫やアイデアは、療育の専門性として療育に携わる専門家が持たなければならないものです。また、自閉症スペクトラムの特徴があっても、可能な限り社会で価値ある存在として生きていくことを支える内容についても早い段階から用意する必要があります。

今回の報告会では、このような内容についての実践を報告する予定です。自閉症スペクトラム児への個別療育支援に携わっている方、これから個別療育を担当される方、個別療育について興味のある方々の参加をお待ちしております。

【プログラム】

日程	時間	テ - マ
3月4日 (日)	10:00~10:50	自閉症スペクトラムの特徴を持つ子どもの将来の生活から考える療育実践
	11:00~11:50	実践報告：社会との関係維持のために必要なスキルの指導（1）
		昼 食 （各自おとりください）
	12:40~13:30	実践報告：社会との関係維持のために必要なスキルの指導（2）
	13:40~14:30	幼児期～学齢期の療育に必要な自閉症スペクトラムの特性の基本的理解
	14:40~16:00	実践報告：具体的な目標設定と適切な行動を導き維持させるためのアイデアと工夫

《 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター 》

山藤 由紀・田代 結・新井 利明・中嶋 由希子

天野 昌子・有馬 由紀子・湯浅 麻衣・大岡 駿介